

埼玉佛教

平成27年 4月 第202号

平成27年 4月24日 発行

No.202

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂 4-13-18

一般財団法人 埼玉県佛教会

電話 (048) 861-2138

FAX (048) 864-6649

発行人 萩野 映明

http://saibutu.net

印刷所 関東図書株式会社



平成26年度第2回代議員会議（平成27年3月19日・埼玉会館）

目次

平成26年度第2回代議員会議	12
平成26年度第4回理事会	12
平成26年度第1回臨時評議員会	12
平成27年度事業計画	12
平成27年度予算	12
出欠一覧	11
第7回埼玉佛教文化講座	11
地区仏教会だより	10
▼妻沼仏教会	9
▼川口仏教会	9
地区寺院行事	8
▼公開講座（金澤寺・鳩山町）	8
トピックス	7
「解放同盟埼玉県連合会」	7
・新年旗びらき	7
・共同募金会	9
・歳末助け合い募金協力	9
「埼玉県宗教連盟」	9
・平成26年度宗教学法人研修会	9
・平成27年度第1回理事会	9
「埼玉同宗連」	10
・現地学習会	10
・平成27年度第1回役員会	10
「埼玉県佛教保育協会」	11
・第30回埼玉県佛教幼児画展	11
・平成27年度第1回理事会	11
マイナンバー制度	11
訃報	12
受章報告	12
事務局日誌	12
編集後記	12

平成26年度

第2回代議員会議
第4回理事会

平成27年3月19日(木)、10時30時から埼玉佛会館において、『平成26年度第2回代議員会議』が開催された。会議では、引間維一代議員(所沢)が互選され議長を務めた。

平成27年度事業計画案ならびに予算案について協議がなされた。また、理事会に上程することが確認された。



続く、13時30分から『平成26年度第4回理事会』が開催され、先の代議員会議で協議された内容に基づき協議され、平成27年度事業計画案ならびに予算案について議決された。

また利用者が少ない3階会議室の運用についても協議され、2階会議室の東西分割利用料金と同額にし、和室については午前・午後の枠組みを撤廃し、利用料金を1時間あたり税別350円に改正することが議決された。

平成26年度

第1回臨時評議員会

平成27年3月23日(月)、13時30分から埼玉佛会館において、『平成26年度第1回臨時評議員会』が開催された。会議の議長は、互選により、大嶋法道評議員(岩槻)が務めた。

事業計画案(3頁)、予算案(4頁)が承認された。各会議の出席者は5頁の通り。



第37回埼玉県佛教徒大会 【主管 蓮田市仏教会】

期日 平成27年10月5日(月)

会場 蓮田市・真浄寺(曹洞) [〒349-0101 蓮田市黒浜983]

講師 マナケ・サンガラトナ師

[インド禅定林住職(天台・インド中西部ナゲプール)]

後援 埼玉県東部地区仏教会…岩槻、春日部、草加、越谷、久喜、八潮、菖蒲、三郷、幸手、宮代、白岡、栗橋、鷺宮、杉戸、松伏、吉川、庄和 ※順不同

※詳細は決まり次第お知らせいたします。

一般財団法人埼玉県佛教会 平成27年度事業計画

基本方針

埼玉県内寺院教会の緊密な連携のもと、県下佛教活動の推進、展開に努め、もって道心の高揚と教化の促進を図り、社会の浄化と佛教文化の向上に寄与するため、次の諸事業を行なう。

事業計画

総務

- 1 第37回埼玉県佛教徒大会の開催（主管蓮田市仏教会・東部地区）
- 2 人権教育並びに「埼玉同宗連」との連携
- 3 佛教徒募金、歳末助け合い運動の実施

財務

- 1 会費納入と未納整理
- 2 埼玉会館の管理運営

教化

- 1 第67回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会の開催
- 2 第8回埼玉佛仏教文化講座の開催
- 3 更生保護事業の推進・助成（清心寮）
- 4 宗教法人研修会への参加推進
- 5 機関紙『埼玉佛教』発行等の広報活動

組織

- 1 休眠地区対策
- 2 組織の強化と全一仏教意識の高揚推進
- 3 県佛青及び県佛保の育成並びに全青協への助成

善意銀行

救援基金の運用及び仏教教化事業への助成

埼玉県警察本部との連携

埼玉県警察本部との協同活動

『交通安全の推進』、『振り込め詐欺防止』、『仏像盗難防止』、『暴力団排除』等

第67回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会

期日：平成27年9月8日（火）

会場：埼玉会館大ホール（さいたま市）

第37回埼玉県佛教徒大会

（主管蓮田市仏教会・埼玉県東部地区仏教会担当）

期日：平成27年10月5日（月）

会場：曹洞宗・真浄寺（蓮田市黒浜983）

一般財団法人埼玉県佛教会 平成27年度 予算

(単位：円)

科目名	公益事業	法人会計	収益事業	27年度合計	26年度	増減	摘要
	【公益目的】	【一般会計】	【特別会計】				
収 入	会費収入		13,040,000		13,040,000	12,960,000	80,000 @8,000円
	佛教徒募金収入		3,040,000		3,040,000	3,000,000	40,000 @2,000円
	奉詠大会収入	1,800,000			1,800,000	1,800,000	0 灯明料 @2,000円
	利息収入		10,000		10,000	10,000	0
	賛助金収入		1,750,000		1,750,000	1,750,000	0 灯明料、関連団体より賛助金
	雑収入		60,000		60,000	60,000	0
	貸事務所収入			8,500,000	8,500,000	8,500,000	0
	駐車場収入			4,600,000	4,600,000	4,560,000	40,000
	施設利用料収入			900,000	900,000	700,000	200,000
	代理店収入			100,000	100,000	100,000	0 第一生命、アブラック積立年金
前期繰越		7,500,000		7,500,000	5,000,000	2,500,000	
経常収益合計	1,800,000	25,400,000	14,100,000	41,300,000	38,440,000	2,860,000	
支 出	奉詠大会費	2,500,000			2,500,000	2,200,000	300,000
	県佛大会費	1,200,000			1,200,000	1,000,000	200,000
	仏教文化講座費	500,000			500,000	500,000	0
	善意銀行		600,000		600,000	600,000	0
	広報費	1,500,000			1,500,000	1,400,000	100,000 機関紙「埼玉佛教」4回発行、ホームページ
	育成費	550,000			550,000	460,000	90,000 埼玉青(40周年事業助成を含む)、埼玉保、全仏婦
	全日本仏教会寄附金	975,000			975,000	650,000	325,000 記念事業協力金(325,000円)を含む
	「埼玉宗連」寄附金	350,000			350,000	350,000	0
	「埼玉同宗連」寄附金	60,000			60,000	60,000	0
	地区教化活動助成金	1,530,000			1,530,000	1,530,000	0 地域行事助成
	埼玉県教誨師会寄附金	100,000			100,000	100,000	0
	更生保護法人「清心寮」寄附金	300,000			300,000	300,000	0
	歳末助け合い運動寄附金	600,000			600,000	600,000	0 内50万円を清心寮に指定寄附
	全国青少年教化協議会寄附金	100,000			100,000	100,000	0
	事業費計	10,265,000	600,000		10,865,000	9,850,000	1,015,000
	給料・手当	7,560,000	504,000	336,000	8,400,000	8,000,000	400,000
	顧問料	300,000	100,000	300,000	700,000	700,000	0 顧問税理士
	管理費	65,000	260,000	975,000	1,300,000	1,300,000	0 エレベーター管理、塵芥料、モップ交換
	賃金・報酬	247,000	20,000	33,000	300,000	300,000	0 アルバイト賃料他
	租税公課	260,000	1,040,000	4,400,000	5,700,000	5,520,000	180,000 固定資産税、消費税、法人税他
	保険料	24,000	96,000	400,000	520,000	520,000	0 あんしん財団、職員保険、火災保険
	福利厚生費	135,000	9,000	6,000	150,000	150,000	0
	旅費	675,000	45,000	30,000	750,000	750,000	0 通勤手当、職員旅費
	会議費	810,000	54,000	36,000	900,000	550,000	350,000 理事、評議員会諸費用
	報償費・旅費	1,080,000	72,000	48,000	1,200,000	1,000,000	200,000 役員旅費
	光熱水費	1,980,000	132,000	88,000	2,200,000	1,800,000	400,000 電気ガス水道(埼玉ワンダー社、河合楽器分相殺)
	印刷費	270,000	18,000	12,000	300,000	300,000	0 封筒他
	書籍費	135,000	9,000	6,000	150,000	100,000	50,000 新聞購読料他
	消耗品費	675,000	45,000	30,000	750,000	700,000	50,000 コピー用紙、文具他
	通信費	855,000	57,000	38,000	950,000	950,000	0 電話、郵便料
貸借料	812,000	55,000	33,000	900,000	900,000	0 事務機器リース料他	
交際費	180,000	12,000	8,000	200,000	200,000	0 自治会費、他団体交流他	
中退共掛金	378,000	25,200	16,800	420,000	396,000	24,000 職員退職金積立	
慶弔費	180,000	12,000	8,000	200,000	300,000	▲100,000	
修理費	450,000	50,000	500,000	1,000,000	1,000,000	0	
雑費	90,000	6,000	4,000	100,000	50,000	50,000 振込料他	
管理費計	17,161,000	2,621,200	7,307,800	27,090,000	25,486,000	1,604,000	
積立金		1,000,000		1,000,000	500,000	500,000	
予備費		2,345,000		2,345,000	2,604,000	▲259,000	
費用合計	27,426,000	6,566,200	7,307,800	41,300,000	38,440,000	2,860,000	

《 出 欠 一 覧 》

平成26年度 第2回代議員会議 平成27年3月19日(木)10:30～・埼玉佛会館 1階多目的ホール (敬称略・順不同)

- | | | |
|---------|----------------------|------------------------|
| 会 長 | ○ 萩野 映明 [飯能・能仁寺] | ○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田・三学院] |
| 副 会 長 | ○ 木村 盛雄 [所沢・持明院] | △ 加藤 玄静 [本庄・城立寺] |
| 専 務 理 事 | ○ 深谷 雅良 [入間東部・大應寺] | ○ 山口 正純 [川口・密藏院] |
| 常 務 理 事 | △ 穂山 教雄 [菫蒲・妙福寺] | ○ 鷺山 真哉 [大宮・多聞院] |
| 代 議 員 | △ 糸原 恒久 [川越・蓮馨寺] | ○ 江連 俊裕 [川口・錫杖寺] |
| | △ 本間 照常 [浦和・真弘寺] | △ 稲田 碩哉 [上尾・楞嚴寺] |
| | △ 佐々木 妙修 [与野・妙行寺] | △ 陶山 憲裕 [朝霞・三光院] |
| | ○ 馬場 知行 [鴻巣・宝持寺] | △ 野口 孝之 [吹上・宝蔵院] |
| | ○ 佐瀬 幸俊 [蕨・戸田・正覚院] | ○ 引間 維一 [所沢・長青寺] |
| | ○ 別所 隆雄 [伊奈・法光寺] | △ 野本 亮廣 [狭山・廣福寺] |
| | ○ 米山 知行 [川越・常楽寺] | △ 横山 亮英 [入間東部・來迎寺] |
| | ○ 小川 廣明 [飯能・長松寺] | ○ 安西 昌道 [越生・毛呂山・法恩寺] |
| | ○ 渡辺 宏之 [入間・長福寺] | △ 志治 孝昭 [小川連合・輪禪寺] |
| | △ 光地 英隆 [坂戸・鶴ヶ島・西光寺] | ○ 小谷野 禎正 [川島・大聖寺] |
| | ○ 中嶋 栄 [東松山・滑川・正法寺] | △ 宮寺 守正 [鳩山・玉川・金澤寺] |
| | △ 佐伯 頼栄 [都幾川・慈光寺] | ○ 伊藤 隆慶 [小鹿野・鳳林寺] |
| | △ 村田 栄文 [吉見・息障院] | △ 大野 宏文 [本庄・開善寺] |
| | △ 町田 廣文 [秩父・廣見寺] | △ 斎藤 勝治 [熊谷・東光寺] |
| | △ 佐瀬 英雄 [北秩父・洞昌院] | △ 角山 祥隆 [荒南・保安寺] |
| | ○ 篠塚 秀文 [児玉・龍泉寺] | ○ 小山 典勇 [寄居・花園・川本・常光寺] |
| | ○ 黒田 紀雄 [深谷・広泰寺] | △ 馬場 弘壽 [加須・龍昌寺] |
| | △ 吉田 隆俊 [妻沼・無量寺] | △ 坂爪 快要 [岩槻・学蔵寺] |
| | △ 福島 伸悦 [行田・長光寺] | ○ 丹羽 尊照 [草加・西願寺] |
| | ○ 岡本 実乘 [羽生・正光寺] | △ 腰塚 俊裕 [久喜・常楽寺] |
| | ○ 池田 常臣 [春日部・圓福寺] | △ 島崎 英種 [菫蒲・正眼寺] |
| | ○ 佐々木 純一 [越谷・東福寺] | △ 関口 亮樹 [蓮田・慶福寺] |
| | △ 田口 峰道 [八潮・長安寺] | △ 今野 泰男 [宮代・醫王院] |
| | △ 榎本 賢隆 [三郷・光福院] | △ 石垣 正順 [栗橋 [代行]・深廣寺] |
| | △ 山本 幸義 [幸手・大阿寺] | △ 寺内 龍弘 [杉戸・無量院] |
| | △ 矢部 玄道 [白岡・寿楽院] | △ 細沼 秀行 [吉川・定勝寺] |
| | ○ 山岡 武秀 [鷲宮・広福院] | |
| | ○ 齊藤 淳道 [松伏・静栖寺] | |
| | ○ 清水 永信 [庄和・明清寺] | |
| 事 務 局 | △ 金子 嘉広 [庄和・明清寺] | |
- 小池 康宏 ○本間 照康
 【代議員】 ○出席23名・△委任状32名 合計55名/現数55名 / [] 内は地区名・寺院名

平成26年度 第4回理事会 平成27年3月19日(木)13:30～・埼玉佛会館 2階東西会議室

- | | | |
|---------|---------------------|------------------------|
| 会 長 | ○ 萩野 映明 [飯能・能仁寺] | ○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田・三学院] |
| 副 会 長 | ○ 木村 盛雄 [所沢・持明院] | ○ 加藤 玄静 [本庄・城立寺] |
| 専 務 理 事 | ○ 深谷 雅良 [入間東部・大應寺] | ○ 山口 正純 [川口・密藏院] |
| 常 務 理 事 | △ 穂山 教雄 [菫蒲・妙福寺] | ○ 嵩 海雄 [東松山・滑川・了善寺] |
| 理 事 | ○ 恒久 亮玄 [浦和・東泉寺] | ○ 穂積 容山 [鴻巣・龍昌寺] |
| | △ 河野 英雄 [北秩父・洞昌院] | △ 眞島 亮悟 [寄居・花園・川本・浄福寺] |
| | △ 佐瀬 英雄 [北秩父・洞昌院] | ○ 馬場 知行 [鴻巣・宝持寺] |
| | △ 坂東 隆秀 [深谷・正傳院] | ○ 矢光 雪巖 [蓮田・保福寺] |
| | ○ 菅間 隆惇 [深谷・華蔵寺] | ○ 島崎 英種 [菫蒲・正眼寺] |
| | ○ 別所 隆雄 [伊奈・法光寺] | △ 桑山 孝道 [都幾川・靈山院] |
| | ○ 津島 英世 [吉川・延命寺] | ○ 五十嵐 義文 [秩父・源蔵寺] |
| | ○ 宮寺 守正 [鳩山・玉川・金澤寺] | ○ 井倉 賢一 [鷲宮・寿徳寺] |
| | △ 関口 亮樹 [蓮田・慶福寺] | |
| 監 事 | ○ 河野 亮仙 [浦和・延命寺] | |
| | ○ 平川 忠雄 [吉見・観音寺] | |
| 事 務 局 | ○ 金子 嘉広 [庄和・明清寺] | |
- 小池 康宏 ○本間 照康
 【理事】 ○出席19名・△欠席5名/現数24名 / [] 内は地区名・寺院名

平成26年度 第1回臨時評議員会 平成27年3月23日(月)13:30～・埼玉佛会館 2階東西会議室

- | | | |
|---------|--------------------|--------------------|
| 評 議 員 | ○ 石川 法夫 [久喜・善徳寺] | △ 上村 正剛 [岩槻・弥勒密寺] |
| | ○ 大嶋 法道 [岩槻・慈恩寺] | ○ 角山 祥隆 [荒南・保安寺] |
| | □ 川端 清光 [岩槻・浄国寺] | ○ 坂本 良光 [深谷・妙光寺] |
| | ○ 関根 隆光 [岩槻・光秀寺] | △ 中村 信行 [蕨・戸田・平等寺] |
| | ○ 沼田 正順 [川越・妙昌寺] | ○ 藤井 壽雄 [吉川・清浄寺] |
| | ○ 馬路 宏樹 [入間・長徳寺] | ○ 實淨 龍彦 [川越・栄林寺] |
| | ○ 向井 隆健 [行田・宝蔵寺] | △ 森田 真隆 [都幾川・全長寺] |
| | ○ 吉田 宏哲 [本庄・宥勝寺] | ○ 鷺津 憲道 [越谷・観照院] |
| 代 理 | □ 和氣 昭祐 [上尾・相頓寺] | |
| 出 席 理 事 | ○ 萩野 映明 [飯能・能仁寺] | ○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田・三学院] |
| | ○ 木村 盛雄 [所沢・持明院] | ○ 加藤 玄静 [本庄・城立寺] |
| | ○ 深谷 雅良 [入間東部・大應寺] | ○ 山口 正純 [川口・密藏院] |
| 監 事 | △ 穂山 教雄 [菫蒲・妙福寺] | ○ 井倉 賢一 [鷲宮・寿徳寺] |
| | △ 糸原 恒久 [川越・蓮馨寺] | |
| | ○ 河野 亮仙 [浦和・延命寺] | |
| | ○ 平川 忠雄 [吉見・観音寺] | |
| 事 務 局 | ○ 金子 嘉広 [庄和・明清寺] | |
- 小池 康宏 ○本間 照康
 【評議員】 ○出席12名、□代理1名、△欠席3名/現数16名 / [] 内は地区名・寺院名

第7回埼玉佛教文化講座

平成27年2月17日(火)、第7

回埼玉佛教文化講座を埼玉佛会館にて、日本印相学会会長であり、花押印相学宗家六世の太田清文おのたせいぶん氏を講師に招き『事件の裏に印あり―世の失敗者は捺印して悲劇が始まる―』を演題に講演いただいた。参加者は寺院、檀信徒、一般から約50名。

講演は、太田先生による自己紹介から始まった。―かつて新

座 平成二十七年二月十

あり 捺印して悲劇が始まる。



聞社勤務の父親から「報道の対象者は成功者が失敗者のどちらかに分類され、新聞社にいればそういう人たちの印を見る機会に溢れている」という勧めもあり新聞社に就職した。記者時代に警視庁の捜査一課と鑑識課を担当し、私の素性をご存じの刑事さんたちから殺人事件の容疑者や被害者の印を見せていただく機会があった。そこにあったのは、幼い頃から父に叩き込まれてきた印相。殺人事件の容疑者の印からは妖気を感じるなど多くの特別な人たちの印には教わったとおりの相が現れているのを見て、あらためて自分の仕事はこれだと思ったとのこと。

日本の社会では、昔から印が動かぬ証拠として重要な役割を果たしてきた。ゆえに安易に印を押したために、すべての財産を失って人生を破滅させた人は

少なくないと語る。

本来、印の使い方は学校で教えるべきものだが、実際にはそういう取り組みがないので、印について正しい知識を持つている方がほとんどいない。だから、印の正しい扱い方を広めていくことが印相学宗家としての第一の仕事と考えているそうだ。契約社会では、この親指大の小さな存在に自分の人生のすべてを預けていると言っても過言ではないと警鐘を鳴らす。

例えば、街中の文具店や駅の売店で販売されている三文判を実印、銀行印、認印などの印として日常的に使用している人が多いが、自分の裏付けに使う印としては非常に危険であると話す。大量生産される印はニセ文書の作成が容易であることがその理由である。次に捨印。捨印には「契約書に記載した内容に誤りがあった場合は修正していただく構いません」という意味があることを理解している人

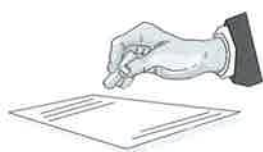


は少ない。種々、捨印は押すべきでなく、内容修正が必要な時には、再度参じて修正印を押すというくらいの意識は持つていくべきであるとのこと。

太田先生は講演の終わりに「印相学では印を武器として見ているほど、印を

押す場面には緊張が伴うということ

を、ぜひ認識してください」と90分の講演を結んだ。



地区仏教会だより

第45回「花祭り子供大会」

妻沼仏教会

平成26年5月31日(土)、熊谷市妻沼中央公民館において、妻沼仏教会(吉田隆俊会長)後援、花祭り子供大会実行委員会主催による第45回「花祭り子供大会」を開催した。当日は旧妻沼町地区内寺院の住職・青年教師及び全寺院の檀徒総代及び寺世話人合計72名の協力を得て、会場設営・土産物の袋詰め等に当たった。この土産物は地区内の企業85社を各地区役員が勧募に回り集めた協賛金で調達したもので、今年度は内容を見直し、菓子・自由帳・ジュース・甘茶等400組を用意した。

大会は、第1部法要では地区

内4小学校の持ち回りで、男沼小・太田小の児童代表8名による献灯・献花・献茶に続き読経・お唱えの後、吉田会長の法話、お釈迦様誕生の紙芝居など厳粛に執行された。

第2部では、人形劇団「シヨッコラン」による人形劇が行われ、来場した200名余の子供達とその保護者共々大いに楽しみ会場は大変盛り上がりしました。

閉会后お土産の袋を手にした子供達は、誕生仏に甘茶をかけながら、来年も来たいねと笑顔で言っていたので、準備した甲斐があったと役員一同安堵しました。課題としては、学校が花祭り行事を宗教行事と見なし協力してもらえないため、年々参加する児童が減っています。今後はPTAや子供会の役員にも働きかけ、地域の文化行事として盛り上げていきたいとおもいます。

(報告・妻沼仏教会

常務理事 備前島賢光)

川口仏教会研修旅行

川口仏教会

去る平成27年3月3日(火)

川口仏教会(江連俊裕会長)主催の研修旅行が開催されました。今回の研修は各宗大本山をバスで巡る巡拝旅行です。

当日は寒波の影響により厳しい寒さの中、川口仏教会会長、江連俊裕師のご自坊、川口市本町の錫杖寺に集合し総勢16名の参拝団となりました。

まず、曹洞宗大本山総持寺(横浜市鶴見区)に参拝をさせていただきました。鶴見駅近くに広大な敷地を有し、禅の根本道場として大勢の雲水がご修行をされております。また、故石原裕次郎の菩提寺としても有名であり、墓前には今でも多くの花が供えられておりました。

次に日蓮宗大本山池上本門寺(大田区池上)に昼食を兼ねて



参拝をさせていただきました。日蓮聖人ご入滅の霊場として多くの信仰を集めている本門寺は、松涛園(日本庭園)内のあずまやにて西郷隆盛と勝海舟にて江戸城無血開城の話し合いを行った場所としても有名です。

次に浄土宗大本山増上寺(港区芝公園)に参拝をさせていた

だきました。増上寺は徳川家の菩提寺として、江戸時代には関東十八壇林の筆頭として隆盛を極めました。その後の戦火によって伽藍の大部分を焼失しましたが、御遠忌事業等にて見事に復興をされております。現在では東京タワーと大殿のコントラストが話題を呼び、映画やドラマのロケ地等としても有名です。

その後、両国に懇親の席を設け、普段あまり交流の無い各宗の皆さまと賑やかに意見交換をし、懇親を深めることができました。

結びに、今回の研修旅行に際し、各宗の諸大徳に多大なるご理解とご尽力を賜り、普段では参拝のすることができない御堂にてご法楽をあげることができました。この場をお借りしまして篤く御礼を申し上げ報告とさせていただきます。合掌

(報告・密蔵院内 山口純雄)

地区寺院行事

公開講座

「アショーカ王と仏教」

平成27年3月25日(水)、13時から比企郡鳩山町にある金澤寺(当会理事・宮寺守正師・曹洞)において公開講座が行われました。講演会の前に本堂にて参加者一同、住職を導師に勤行を厳修。

金澤寺では、仏教の学習会「正法眼蔵研究会」が僧俗合わせて10名程で行われている。今回は公開講座として花園大学で教鞭を執られている佐々木閑先生を



講師に招き「アショーカ王と仏教」と題して講演が行われた。参加者は僧俗30名弱であった。

先生は「律蔵」が主たる研究フィールド。僧団(サンガ)における法律―「律」の研究をすることは、僧団でお坊さんが規律の中でどのような暮らししていたかを知る以外に、仏教の歴史を紐解く最良の情報源だと話す。

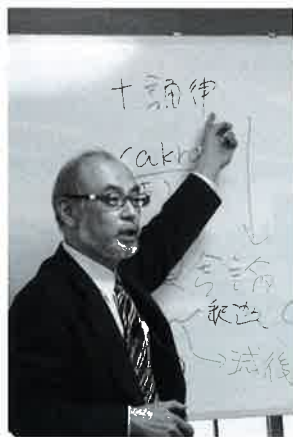
どんな組織にも法律は一本しか存在してはならない。例えば僧団がどのように変化したとしても必ず一本の律がDNAのように存在している。だからDNAの変遷を調べることによって仏教組織全体の變遷も分かってくるのだという。

講演内容は、最も早いブッダの教説についての記録があるアショーカ王碑文を通して、初期の仏教について考えるというもの。アショーカ王の詔勅が彫られた碑文はインド国内に40箇所ほど在り、その碑文の一つにアショーカ王が発した詔勅の他



に、内部資料的な本来彫られるべきではなかった部分が発見された後の研究に役立ったとされる。

ブッダが生きていた頃の律では、ブッダの直説に反する見解を主張して形成したグループを「破僧集団」としていた。ところがブッダ亡き後は地理的に分散していた仏教教団同士が互いの正当性を主張し、相互に相手を「破僧集団」と非難。アショーカ王は法勅を出して破僧状態を解消するよう尽力した。その結果、各僧団は「和合布薩」と呼ばれる和解の為の儀式を行い、



教義の異なるグループがお互いの存在を承認しながら並存、共住が可能であるという現象が発生し部派仏教が成立したという解説がなされた。

そこから数百年の時間差を経て、多数の新思想が互いに併存することという「大乘仏教」の発生につながっていったことから、従来、部派仏教と大乘仏教の発生は別個であると考えられてきたが、実は同一線上の同一原因によって起こったものであることも論証解説された。体系立てられた解説と流麗な語り口はとても分かりやすく、あつという間の3時間半であった。

(事務局・小池)

ト
ピ
ック
ス

「新年旗びらき」

部落解放同盟埼玉県連合会

平成27年1月13日(火)、部落解放同盟埼玉県連合会の新年旗びらきが、熊谷市内のホテルガーデンパレスを会場に開催された。「埼玉同宗連」から8名が出席した。第1部の研修会では、徳島県内の被差別の人々が築いた文化遺産である祝福伝統芸「三番叟まわし」のDVDが上映された。続く第2部の旗びらきでは、片岡明幸県連執行委員長が冒頭あいさつをし、続いて来賓あいさつ、紹介が行われた後、「埼玉同宗連」を代表して備前島賢光議長があいさつを行った。また、恒例の抽選会が賑やかに行われ、当選者には場内から大きな拍手が送られた。最後に団結ガンパローを行い閉会。

「埼玉県共同募金会」

歳末助け合い募金協力

平成26年12月15日(月)、埼玉県共同募金会への歳末助け合い募金に60万円を協力。内50万円を更生保護施設清心寮に指定寄付をした。



埼玉県宗教連盟

「平成26年度宗教法人研修会」



平成27年2月5日(木)と6日(金)、埼玉県宗教連盟と埼玉県総務部学事課の共催により、平成26年度宗教法人研修会が開催された。

5日(木)は、さいたま会場で開催者43名、6日(金)の川越会場は参加者27名でそれぞれ開催された。会場は、例年さいたま会場として埼玉会館を会場提供している。



研修会は、学事課担当者による「埼玉県における基本的な事務手続きについて」の講義を40分行い、税務署から「宗教法人に必要な税務の基礎知識について」の講義を60分行った。

「平成27年度第1回理事会」

平成27年4月15日(水)、埼玉県宗教連盟(飯野敏明理事長)

参加者は仏教系、神道系、キリスト系が主で、その他新宗教団体が続く。

第1日目のさいたま会場における開会行事では、先ず主催者挨拶を滝瀬恵一副理事長(立正佼成会)が行い、続いて事務局から埼玉県宗教連盟の事業説明を行った。翌日は加藤智副理事長(カトリック)が主催者挨拶

ならびに事業説明を行った。研修に入る前に今年埼玉県警本部生活安全企画課による「振り込め詐欺の発生状況と被害防止対策」の説明がなされた。



は埼玉佛会館にて、平成27年度第1回理事会を開催し、平成26年度事業報告、決算および平成27年度事業計画案、予算案ならびに役員改選について協議され、それぞれ承認された。新理事長には、高橋慶宣氏(天理教)が就任した。

「埼玉同宗連」

現地学習会

平成27年2月5日(木)、「埼玉同宗連」現地学習会を東村山市に在る国立ハンセン病資料館を会場に開催した。当日は降雪に見舞われ中止も検討したが各教宗派から16名の参加者が集まった。

研修会の開会行事では、先ず備前島賢光議長からあいさつが行われた後、約40分のビデオ学習を行い、ハンセン病についての正しい知識を学習した。続いて、国立療養所「多磨全生園」の入所者自治会長を務める佐川修さんによる講演を聴講した。

現在、多磨全生園の入所者は232名で日本国内でのハンセン病感染者は根治し、近年の感染者は皆無とのことであるが、今もなお入所中の方は高齢となり、身寄りがないという実状。佐川さん自身も80歳を越え、実



体験を話す事ができるのは、佐川さんを含め2名。昨年のお休みは30日と年間の大部分を語り部に費やし、自分の語り部を通して、ひとりでも多くの人達にハンセン病のことを記憶にとどめてもらいたいと話をつんだ。

平成27年度第1回役員会

平成27年4月13日(月)、「埼玉同宗連」(備前島賢光議長)は埼玉佛会館にて、平成27年度第1回役員会を開催し、平成26年度事業報告、決算および平成27年度事業計画案、予算案ならびに役員改選について協議され、

6月16日（火）、埼玉会館にて開催予定の総会に上程されることが決まった。また同日午後から開催される第41回研修会は、意識調査にもとづいた身元調査の実態をテーマとすることが決まった。

研修会の案内は、「埼玉同宗連」への連携の一環として、本会の総務委員（委員長・穂山教雄常務理事）にも郵送される。

埼玉県佛教保育協会

「第30回埼玉県佛教幼児画展」

平成27年1月31日（土）～2月1日（日）、埼玉県佛教保育協会（丹羽義昭会長）は、さいたま市文化センターを会場に埼玉県佛教幼児画展を開催した。

今年で30回目を迎えたことから、記念式典ならびに記念研修会が行われた。式典中、第21回からの参加園と協賛事業所へ感謝状を贈呈。続く記念研修会で

は十文字学園女子大学教授の平田智久先生を講師に招き「幼児の造形について」を演題に90分の講演が行われた。

同日午後からは、同センター展示室にて、参加園12園、作品325点を展示。会期中は、作品が展示された園児ひとりひとりに園の先生から賞状と記念品の贈呈が行われた。来場者は、両日合わせて1200名を超えた。



「平成27年度第1回理事会」

平成27年4月3日（金）、埼玉県佛教保育協会（丹羽義昭会長）は平成27年度第1回理事会を開催し、今年度の事業計画案

ならびに予算案について協議し、来る5月20日（水）の総会に上程することが決まった。

また、同日午後から開催される平成27年度「春季研修会」は東京成徳短期大学教授の安見克夫先生による「子ども・子育て支援新制度における課題と展望」についてのご講演をいただくことが決まった。

さらに、今年度、同会は加盟園の先生方を対象に夏季研修会を開催する。研修先は北陸新幹線を利用して曹洞宗大本山永平寺における研修と金沢散策が予定されている。



マイナンバー（社会保障・税番号）制度が平成28年1月からスタート。

従業員の健康保険や厚生年金の加入手続、従業員の給料から源泉徴収して税金を納めるなどの手続を行うためにマイナンバーが必要となります。また、外部の方に講演や原稿の執筆を依頼し、報酬を支払う場合、報酬から税金の源泉徴収をしなければいけません。そのため、こうした外部の方からもマイナンバーを提供してもらう必要があります。

■マイナンバー（個人番号12桁、法人番号13桁）は平成27年10月に通知されます。

■マイナンバー制度に関するお問い合わせは

マイナンバーコールセンター ☎ 0570-20-0178（全国共通ナビダイヤル）

〔受付時間・平日9時30分～17時30分（土日祝日・年末年始を除く）〕

※上記ダイヤルに繋がらない場合は ☎ 050-3816-9405 におかけください。

訃報

事務局日誌

お悔やみ申し上げます。

平成27年 1月

1日 加須市観音寺(智山)

藤田 昌平 師(83歳)

2日 幸手市満蔵寺(豊山)

中村 龍雄 師(86歳)

15日 深谷市正明寺(曹洞)

若守 正義 師(79歳)

22日 加須市桂性寺(智山)

大鹿 眞栄 師(67歳)

4月

7日 吉川市東泉寺(曹洞)

竹内 博徳 師(89歳)

平成27年 1月

5日▼仕事始め/埼玉佛教発送

6日▼「埼玉佛青」写仏/執行部

会

13日▼「解放同盟」県連旗びら

き(熊谷ガーデンパレス)

14日▼第4回理事会(埼玉佛会

館) / 新年懇親会(浦和・

プリムローズ有朋)

15日▼「埼玉宗連」新年懇親会(浦

和・満寿屋)

23日▼「埼玉同宗連」新年懇親

会(浦和・山崎屋)

29日▼「全仏」新年懇親会

31日▼「埼玉保」第30回埼玉佛

教幼児画展(浦和・さいたま

文化センター) / 2月1日)

/ 新年懇親祝賀会(浦和・口

イヤルパインズホテル)

2月

5日▼「埼玉宗連」宗教法人研修

会(埼玉佛会館/小池主事

補) / 「埼玉同宗連」現地

研修会(ハンセン病資料館

/ 金子事務局長、本間主事

補)

6日▼「埼玉宗連」宗教法人研修

会(川越西文化会館/小池

主事補)

17日▼第7回埼玉佛教文化講座

(埼玉佛会館)

24日▼「埼玉佛青」写仏

3月

4日▼総務委員会/教化委員会

10日▼「埼玉佛青」写仏

11日▼財務委員会/組織委員会

19日▼第2回代議員会議/第4

回理事会(埼玉佛会館)

23日▼臨時第1回評議員会 /

「埼玉佛青」執行部会(埼玉佛

会館)

25日▼公開講座取材(鳩山町・

金澤寺/小池主事補)

4月

3日▼「埼玉佛保」理事会(埼玉佛

会館)

7日▼「埼玉佛青」写仏

13日▼「埼玉同宗連」役員会 /

「埼玉佛青」執行部会(埼玉佛

会館)

15日▼「埼玉宗連」理事会(埼玉佛

会館)

編集後記

やっと暖かさが訪れ、少しづつ膨らんできた桜のつぼみも、あつという間に満開。淡いピンク色に心を落ち着かせていたとおもったら、季節はずれの雪が花まつりの桜吹雪に見えたりして：早くあたたかくなれ。

(鯉)

平成二十六年

受章おめでとうございます

《秋》

瑞寶雙光章

新井 望不 師
(川越市・長田寺 更生保護功勞)